

発行日	令和6年12月27日
発行元	災害対策課
所属長	清水 計秀
電話	06-6489-6165



防災対策情報便

令和6年12月号

01 阪神・淡路大震災から30年

令和7年1月で平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から30年が経ちます。

尼崎市では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れることなく、地域や世代を超えて伝え続けるとともに、南海トラフ地震などこれからの災害に備えて、一人ひとりの防災意識の向上のために、市民の皆さまと市が協働して阪神・淡路大震災30年事業を展開しています。

これまでの阪神・淡路大震災30年事業

防災ポスターコンクール



子ども達を対象に防災ポスターコンクールを行い、61点の作品の中から9点の入賞作品が選ばれました。表彰式では、子どもたちが少し緊張した様子で松本市長から賞状を受け取りました。



入賞作品は、ホームページへの掲載や令和7年1月17日に実施予定の『「117は忘れない」地域防災訓練』など、今後の防災の啓発に活用します。

また、市役所本庁舎や各地区の生涯学習プラザなどでも順次展示させていただく予定ですので、子ども達の素敵な絵をぜひご覧ください。



遊んで学べる防災フェス! in大庄

ペットボトルランタンづくりや備蓄食料の試食など、遊びながら防災が学べるイベント「遊んで学べる防災フェス!」を開催しました。

参加者の方からも、「楽しかった!」「防災について考えるきっかけになった!」という声をたくさんいただきました。

家族で防災のことを話
すきっかけになった!



段ボールベッドを
体験できてよかった!



▲防災絵本の読み聞かせ



▲防災クイズ



▲ペットボトルランタン
づくり



▲心臓マッサージ体験

今後の阪神・淡路大震災30年事業予定

常設ミニ展示「阪神・淡路大震災と尼崎」

実施日：1/4（土）～2/26（水）
場 所：中央図書館

「阪神・淡路大震災から30年 男女共同参画の視点で考える防災・減災・復興」ギャラリー展

実施日：1/10（金）～2/23（日）
場 所：女性センター・トレピエ

歴史博物館企画展 尼崎・災害の歴史

実施日：1/11（土）～3/30（日）
場 所：尼崎市立歴史博物館
3階 企画展示室

「1.17は忘れない」地域防災訓練

実施日：1/17（金）
場 所：武庫東小学校（他5会場）

阪神・淡路大震災30年講演会 ～災害からの復興・生活再建を考える～

実施日：1/17（金）
場 所：小田南生涯学習プラザ
3Fホール

震災を考えるギター演奏会

実施日：1/18（土）
場 所：立花南生涯学習プラザ
3Fホール

防災体験セミナー 「深海から聞こえてくる地球へのメッセージ」

実施日：1/25（土）
場 所：尼崎市中小企業センター

ペット防災を学ぼう

実施日：2/15（土）
場 所：県動物愛護センター

尼崎市防火・防災フェア

実施日：3/1（土）
場 所：尼崎市防災センター



02 その他のイベント

尼崎市では、阪神・淡路大震災30年事業以外にも、たくさんの防災事業を行っています。

マイ・タイムライン作成講座



10/27（日）国土交通省猪名川河川事務所と「洪水時の一人ひとりの防災行動計画」となるマイ・タイムライン作成講座を開催しました。

当日は、気象予報士で気象キャスターの奈良岡希実子氏を講師にお招きし、近年、激甚化・頻発化する災害への備えや気象情報の活用方法をはじめ、災害に備え“今できること”のひとつであるマイ・タイムラインを参加者に作成していただきました。

兵庫県津波一斉避難訓練

11/5（火）10時から、兵庫県津波一斉避難訓練の実施に伴い、市内に設置されている防災行政無線からの緊急地震速報の情報伝達訓練や、大津波警報の発表及び避難を呼びかける緊急速報メール（エリアメール）で伝える訓練が行われました。

当日は、日本GLP（株）様にご協力いただき、近隣の市民や事業者が参加して、南海トラフ地震への備えとして、津波等一時避難場所への避難訓練や防災講座を行いました。



尼崎市防災会議

11/8（金）に中央北生涯学習プラザで尼崎市防災会議を行いました。

尼崎市防災会議って？

尼崎市の防災に関する大切な事項を審議する場です。

会議のメンバーは？

- ・ 防災に関する学識経験
- ・ 自衛隊、国・県・警察等の行政機関
- ・ 関西電力送配電（株）、NTT西日本、JR西日本、阪神バス等のインフラ会社
- ・ 地域で防災活動をしている民間団体等



何をしているの？

災害予防や応急対策、復旧・復興に関する業務を定める防災計画を作成し、毎年検討・修正をしています。

令和6年度の会議では、法令改正に合わせた制度の追加や、国や県が策定する計画に合わせた修正案について確認するほか、学識経験者より能登半島地震による課題等に関する講演を実施しました。

職員研修「停電時における復旧の概要について」

11/25（月）に職員の「停電の発生原因や復旧の仕組み」に関する知識を高め、停電発生時における市民や事業者への対応力向上を目的として、関西電力送配電（株）様に講話をいただき、職員研修を実施しました。

尼崎市では、平成30年の台風第21号による大規模停電の対応を踏まえ、関西電力送配電株式会社と災害時に優先復旧を実施する重要施設の確認や、情報連絡体制の構築などを行っており、今後も停電時の対応について、相互に連携を図っていきます。



ひょうご防災リーダー研修会



11/30（土）に関西国際大学様にご協力いただき、本市と合同で、「ひょうご防災リーダー研修会」を実施しました。

この研修会は、年に1度、ひょうご防災リーダーなどを対象として、特定のテーマに関する講座を通じて知見を深めていただくことや、他のひょうご防災リーダーの方達との交流を目的として実施しています。

今年度のテーマは？

今年度は、「日本人と外国人の協働」をテーマに、在留外国人の方にもご参加いただき、現状の課題とその解決に向けディスカッションを行っていただきました。

外国人の生の声を聞くことで、他の参加者も課題を身近に感じることができました。

指差しボードや
翻訳アプリが大切！

避難所の運営委員には、
外国人や女性など、
多様な人が必要！



ひょうご防災リーダーって？

兵庫県では、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「ひょうご防災リーダー講座」を実施しています。

講座を修了すると、修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与されます。

03 備蓄品の更新を忘れずに！

新年を迎えるにあたって、大掃除は終わりましたか？

お家をきれいにするついでに、眠っている備蓄品も確認しましょう。

備蓄品は、普段あまり確認することが少ないと思いますが、必要な時に食べ物の期限が過ぎていたり、懐中電灯やラジオの電池が入っていないくて使えない等があると、災害時に安心・安全に過ごすことができません。

災害が起きたときには、物流がストップしていたり、長時間並ばないと物資が手に入らない場合があります。

期限が切れている食料がないか、すぐに使える状態か、足りないものがないかを定期的に確認するために、ご家庭であらかじめ確認するタイミングを決めておくことも大切です。



うちは大掃除の時に
確認するよ！

懐中電灯・ラジオなどに使う
乾電池は別売りになっている
ことが多いので、すぐに使える
状態かチェックしましょう！



お知らせ

新たに、災害時における物資調達に関する協定を締結しました。

この度、尼崎市では、市内に多店舗展開するスギホールディングス株式会社と、食料品をはじめ、一般医薬品、医療用品、衣料品、日用品などの災害時に必要な生活用品の確保や迅速な市民への物資提供を目的として、「災害時における物資調達に関する協定」を締結しました。

スギホールディングス株式会社との協定は阪神間では尼崎市が初となります。